注記　１．本学が有している土地、建物の一部（19,893,807,431円）を国立大学財務・経営センター長期借入金（8,041,526,000円）の担保に供しております。
２．期末における債務保証の総額は14,183,992,817円であります。
３．運営費交付金から充当されるべき退職一時金の当期末見積額は12,544,090,627円であります。
４．運営費交付金から充当されるべき賞与の当期末見積額は769,732,391円であります。
５．本学は、法令上処分が必要な高濃度のＰＣＢ廃棄物を保管しており、今後発生が見込まれる処分費用は概算で226,933,000円となっていますが、国立大学法人の場合は運営費交付金（特殊要因経費）によりＰＣＢ廃棄物処理費が措置されており、今後も所要の措置がなされる予定であることから、引当金の計上を行っていません。
６．利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの
①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの
附属病院に関する借入金の元金償還額の累計　17,823,790,611円
当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計　15,007,566,665円
利益剰余金に与える影響額（差引き）　2,816,223,946円
②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの
法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額の累計　1,134,926,566円
③　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　26,886,032円
④　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資ではなく譲与としたことによるもの　653,276,272円
4,631,312,816円

損　益　計　算　書

（自平成23年４月１日～至平成24年３月31日）　（単位：円）

経常費用				
業務費				
教育経費		1,920,956,681		
研究経費		2,119,766,855		
診療経費				
材料費	6,684,329,741			
委託費	1,429,282,877			
設備関係費	3,251,075,178			
研修費	6,483,856			
経費	1,208,438,263	12,579,609,915		
教育研究支援経費		380,221,425		
受託研究費		1,466,037,707		
受託事業費		256,340,112		
役員人件費		117,899,352		
教員人件費				
常勤教員給与	8,397,280,892			
非常勤教員給与	1,757,187,881	10,154,468,773		
職員人件費				
常勤職員給与	6,211,396,239			
非常勤職員給与	2,759,690,886	8,971,087,125	37,966,387,945	
一般管理費			1,194,741,703	
財務費用				
支払利息		427,764,883	427,764,883	
雑損				
為替差損		236,266		
その他雑損		65,101,301	65,337,567	
経常費用合計				39,654,232,098
経常収益				
運営費交付金収益			12,883,487,184	
授業料収益			3,574,850,152	
入学金収益			556,357,800	
検定料収益			135,179,000	
附属病院収益			19,337,422,703	
受託研究等収益				
国等からのもの		99,712,628		
国等以外のもの		1,347,486,582	1,447,199,210	
受託事業等収益				
国等からのもの		156,065,662		
国等以外のもの		109,930,369	265,996,031	
施設費収益			125,135,425	
補助金等収益			337,075,135	
寄附金収益			988,195,416	
資産見返運営費交付金等戻入			390,047,254	
資産見返補助金等戻入			381,561,565	
資産見返寄附金戻入			289,420,923	
資産見返物品受贈額戻入			39,969,809	